

たびたび起る頭痛



このごろ、季節の変わり目に入ったせいか、頭痛やめまいを訴える方が多いようです。

発熱や風邪の時などには、頭痛を感じることが多いですが、そういったものとは違って他の症状がないのに、たびたび起る慢性の頭痛があります。

慢性頭痛

緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛が主なものです。

説明を下段の表にまとめました。

これまで日本では緊張型頭痛がほとんどといわれていましたが、良く調べると、片頭痛もかなりあるといえます。

この他にこれ等の症状が重なった混合型というものもあります。また薬への頼りすぎが原因の頭痛もありますので注意しましょう。



慢性頭痛の種類

	片頭痛	緊張型頭痛	群発頭痛
性別・家族歴	女性に多い(30代の5人に1人) 親子で遺伝することがある	多少女性に多い 遺伝しない	男性に多いが起るのはまれ
痛む場所	こめかみのまわりから(片側または両側)	後頭部から首筋が多い	いつも決まった片側の目の奥
痛む時間	4時間~3日間	30分~1週間続く	15分~3時間
痛みの頻度	1か月に1~3回程度	毎日のように	1~2か月の連日発作が年0.5~2回
痛みの程度	仕事や家事に支障がある 頭を振ったり体を動かすとひどくなる	あまりひどくはないが いつまでもすっきりしない	強烈で激しい 痛くてじっとしてられない
痛みの表現	ズキンズキン ガンガン	重苦しい 締め付けられる	目をえぐられるよう
痛み以外の症状	吐き気、吐いてしまう 頭痛の前に前兆(閃輝暗点)がある	首や肩のこりをともなう フワッとめまいがする	痛みのある側の目の充血・涙 鼻水が出る、額に汗をかく
原因	頭の血管の拡張	肩・首の筋肉や神経の緊張	目の後ろの血管の拡張

危険な頭痛

その他頭痛の中には、すぐに対処する必要のある危険な頭痛もあります。

くも膜下出血：突然の激しい痛みから始まる。意識を失うこともある。

脳腫瘍：一ヶ月位の間に頭痛がひどくなってくる。

慢性硬膜下血腫 軽い「ム」を伴うことがある

ボケ症状が現れることもある 頭を打った後などに一ヶ月かかって徐々に進行する

髄膜炎

かぜの症状に似た発熱の頭痛 吐き気や、後頭部から首筋が硬くなる症状が現れる



頭痛の診断

問診

だいたいの頭痛は、良く聴くだけで診断がつきます。

脳のCT、MRI

すぐに特別な治療を必要とする危険な頭痛を見分けます。

頭痛の治療

片頭痛や群発頭痛はむずかしい病気ですが診断がつけば、特効薬があり、うまくコントロールできるようになります。

緊張型頭痛には、これまでの頭痛薬が結構良く効きます。しかし、薬の使いすぎによる頭痛もありますので、医師と良く相談しながら、薬を使いましょう。



おめでとう



当院看護師の樽木千晴さんが八月三十日、無事三十一八グラムの元気な男児を出産いたしました。



ありがとう

遠藤郁夫先生の外来が十月よりなくなります。

昨年院長が入院して以来お手伝いをいただいておりますが、遠藤先生の日程が忙しくなっておりますので、一応外来を終わります。以後は以前のように院長が担当しますが、第四木曜日午後は、休診となります。

遠藤先生の診察をご希望の方は問中病院の総合外来へ。院長

みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

受け付けからのお願い

月初めには必ず保険証を受け付けにお出し下さい。診察券は毎回お持ち下さい。

編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。

9月・10月の休診日

E・メールを送って下さい。 norikazu@okutu.jp

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜

9月22日(金)午後 休診
10月17日(火)午後 休診
10月より第4木曜日午後休診

